

「JST Innovation Bridge：学から産へのシーズ発表会 ～機能性材料、環境・新エネルギーに関する先端研究発表～」 -JST との連携- への発表テーマ募集について

1. JST Innovation Bridge について

JSTの産学共同シーズイノベーション化事業(添付資料参照)顕在化ステージへの応募を見据え、大学等の基礎研究の中から、産業界の視点でイノベーションを創出する可能性のあるシーズ候補を探索していただく場を提供する。

日本化学会とJSTが連携した研究発表会は、昨年に引き続いて3回目。大学等とJSTが連携した研究発表会は既に約40回開催。過去の開催事例はこちらのホームページをご参照下さい。

<http://deainoba.jp/>

< 今年の発表会の様子 >



2. 発表対象

- ・大学・公的研究機関に所属されている研究者
- ・ご自身の研究のうち基礎研究の段階で、企業に向けてご発表いただけるテーマ
- ・今後、企業との共同研究を希望されるテーマ
- ・産学共同シーズイノベーション化事業「顕在化ステージ」へのご応募を目指していただけるテーマ

3. 対象分野

『機能性材料、環境・新エネルギー』

例えば、以下のいずれかに該当するテーマ。

- ・超ファインパターン形成
- ・ディスプレイ材料
- ・光学材料
- ・プリント・ストレージ材料
- ・未来材料
- ・環境
- ・新エネルギー

なお、応募者多数の場合等、皆様の発表申込み状況を踏まえ、調整させていただく場合がございます。

4. 開催概要(案)

- ・日時：平成20年3月30日(月)13:30-17:00
- ・会場：日本大学理工学部船橋キャンパス
- ・主催：(社)日本化学会、(独)科学技術振興機構
- ・開催形態：公開型、聴講者(企業)の当日参加可、参加費無料
- ・参加募集(予定)件数：8件程度
- ・口頭発表：20~30分程度
- ・質疑応答：聴講者(企業)からのご質問にお答えいただくスペースを設置予定

5. 発表についての方針

- 研究者の皆様には、ご自身の研究の魅力・おもしろさをお伝えいただき、聴講者(企業)の方には、イノベーション創出に繋がるシーズの候補を探索いただくことで、新たな出会い・新たな提案が生まれる場となることを目指します。
- 聴講者(企業)には、企画部門など専門家ではないが新しいシーズの候補を探している方もいらっしゃいます。専門家でない方も含め、より興味を持って頂けるよう、下記事項へのご協力をお願いいたします。

※皆様から発表の申込みをいただいた後に、詳しくご連絡いたします。

①研究者アピールデータ

企業が、企業内のどの人を発表会に派遣させるか人選できる程度の研究の分野や概要、専門性等が記載された研究者アピールデータの作成をお願いいたします。本内容は、ホームページ、ダイレクトメール、当日配付資料、チラシにも掲載させていただく予定です。

②サブタイトル

タイトルは、ダイレクトメール等で広報活動を行う際、注目度の高い重要な項目です。専門家でない方にも理解しやすい具体的表現を盛り込んだサブタイトルの作成もお願いします。

③プレゼン原稿

聴講者の理解を助けるため、必要に応じ、メカニズムの説明や特徴的な現象など、動画や写真、

模式図等を交えたプレゼンテーションをご検討ください。

○発表は公開で行いますので、秘密情報、未公開情報などに関する内容を含まないようご注意ください。

6. 個別議論

ご発表後、聴講者より質問等がございましたら、別室にて個別にお打ち合わせをお願いいたします。

7. 発表後の後日ご対応について

ご発表後、企業からの研究内容に関する問い合わせや共同研究に関する問い合わせにつきましては、別途連絡先をご指示いただきますようお願いいたします。

8. その他

本発表会でのご発表のみのためにお越し頂く場合などにおいては、JSTから旅費を支出させて頂くことが可能です。また春期年会と本発表会の両方でご発表頂く場合などにおいては、個別に確認をさせて頂き支出についてご相談致します。いずれの場合もJST旅費規程にもとづいて、調整をさせて頂きます。

9. 本件に関する問い合わせ先

独立行政法人科学技術振興機構（JST） 技術展開部イノベーション創出課
中原 (innovdei@jst.go.jp)
TEL:03-5214-7995 FAX:03-5214-8496

10. 申込み方法、締め切り

発表申込み用紙に記入の上、JSTの中原宛に電子メール又はFAXにてご連絡下さい。

申込み締め切り 平成21年2月2日（月）